

●香川県告示第375号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があったので、同条第4項の規定によりその概要を次のとおり告示する。

なお、この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。

平成22年9月21日

香川県知事 浜 田 恵 造

1 申請の概要

- (1) 申請者の住所及び名称並びに代表者の氏名
 大阪府吹田市山田丘3番1号 大阪大学内
 一般財団法人阪大微生物病研究会 理事長 東 雍
- (2) 事業場の所在地及び名称
 観音寺市八幡町2丁目9番41号
 一般財団法人阪大微生物病研究会 観音寺研究所
- (3) 特定施設に関する事項
 設置しようとする特定施設

種	類	医薬品製造業の用に供する分離施設	
能	力	①容量1.0 L×6本/回、回転数7,000 rpm 2基 ②容量1.0 L×6本/回、回転数7,000 rpm 1基 ③容量3.2 L、回転数40,000 rpm 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後	
	工事完成予定年月日	工事着手後1月	
	使用開始予定年月日	工事完了後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		①60分/回、1回/日、週4日使用 ②40分/回、2～4回/日、週1日使用 ③3時間/回、1回/日、月2日使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	①②③6.0～8.0	①②③6.0～8.0
	生物学的酸素要求量 (mg/L)	①②③40	①②③80
	化学的酸素要求量 (mg/L)	①②③20	①②③40
	浮遊物質 (mg/L)	①②③160	①②③320
	窒素含有量 (mg/L)	①②③10	①②③20
	りん含有量 (mg/L)	①②③4	①②③8
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		(1基当たり) ①20.03 ③0.2	(1基当たり) ①20.09 ③0.4

変更しようとする特定施設

種	類	医薬品製造業の用に供するろ過施設
能	力	(変更前) ろ過面積28m ² (2m ² ×14枚) (変更後) ろ過面積48m ² (2m ² ×24枚)
工	工事着手予定年月日	許可後

期 等	工事完成予定年月日	工事着手後1月	
	使用開始予定年月日	工事完了後	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前) 6時間/回、1回/日、週3日使用 (変更後) 8時間/回、1回/日、週4日使用	
排出さ れる汚 水等の 汚染状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6.0~7.0	6.0~7.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	1,400	2,800
	化学的酸素要求量 (mg/L)	4,250	8,500
	浮遊物質 (mg/L)	120	240
	窒素含有量 (mg/L)	900	1,800
	りん含有量 (mg/L)	15	30
排出される汚水等の量 (m ³ /日)		(変更前) 1.5 (変更後) 6	(変更前) 2 (変更後) 6.5

他に既設特定施設を12基移設し、一部特定施設について使用の方法を変更するが、排出される汚水等の汚染状態及び量に変更はない。

(4) 汚水等の処理施設に関する事項

変更無

(5) 排出水の汚染状態及び量

排出水 の汚染 状態	区 分	第 7 排 水 口	
	項 目	通 常	最 大
の汚染 状態	水素イオン濃度	7.0~8.0	7.0~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	15	25
	化学的酸素要求量 (mg/L)	20	30
	浮遊物質 (mg/L)	15	30
	窒素含有量 (mg/L)	10	30
	りん含有量 (mg/L)	1	3
	大腸菌群数 (個/cm ³)	150	200
排出水の量 (m ³ /日)		380	550

他に排水口が4箇所（雨水専用）ある。

(備考) 今回特定施設の設置及び変更を行うが、一部既設特定施設の廃止及び熱源設備からのドレン水回収設備の本格稼働による再利用水量の増加により、排出水の汚染状態及び量並びに汚濁負荷量に変更はない。

2 縦覧の期間及び場所

(1) 期間

平成22年9月21日から同年10月12日まで

(2) 場所

香川県環境森林部環境管理課

観音寺市市民部生活環境課